

# たかはし高校通信

## 姉妹校との相互交流

7月中旬から9月末にかけて本校生徒2名が姉妹校を中期訪問し、ホームステイしながら姉妹校の生徒と一緒に授業を受講しました。また、9月末から12月中旬にかけて、姉妹校から2名生徒が来校しています。



## ノーウッド・モリアルタ高校を訪問して

### 大本 瑞穂 (2年2組 高梁中学校出身)

ホームステイをした家庭では家族をとても大切にしていたことが印象に残りました。何歳になっても仲良く話をしたり、手伝いをしたりする光景は見ていてとても気持ちよかったです。自分も見習うべきところではないかと感じました。



### 森下 恵多 (1年4組 高梁中学校出身)

現地で日本の留学生とも会ったのですが、その人はアデレードにおよそ1年留学し、また過去に数年間、留学経験もあると聞いて、このような学生生活を送る選択肢もあるのだと知り驚きました。現地の人と何不自由なく会話をしていたので驚き、純粋にそれに憧れている自分もいました。



## 高梁高校を訪問して

### セレスト ジョン (Celeste Jong)



日本人の礼儀正しさや清潔さに良い印象を持ちました。高梁高校の授業は大変ですが、とても楽しいです。また、先生方は、私が理解できるように、ベストを尽くして説明してくれます。できるだけ多くの場所を訪れて日本食、祭りなどを体験して、日本の文化や生活様式について理解が深まるようにしたいです。

### アムリット クンバー (Amrit Kumbhar)



高梁高校の生活はとても素晴らしいです。みんな親切でたくさん友達ができました。みんなと一緒に勉強して、日本語がとても上達しました。日本での経験と出会った人は一生忘れません。

## もうすぐ家政科展

1/20 (金) 21 (土) ポルカ天満屋ハッピータウンで開催

今年度の家政科展のテーマは「紙ひこうき～輝け今を、飛ばせ未来へ～」。紙ひこうきは使用する紙、色、折り方など同じものを使っても、飛び方は、飛ばす方向やスピードなどによって1つ1つ違い、全く同じ飛び方をする紙ひこうきはできません。個性あふれる私たちを紙ひこうきで表現し、個性ある私たちを見て頂きたいと思い、このテーマにしました。私たちらしい笑顔あふれる家政科展にしたいと思い、家政科全員で意見を出し合い、練習・準備を進めていきます。是非見に来てください。



家政科展実行委員長  
長谷川綾女 (3年1組)



ドレス製作中



昨年のファッションショー



調理集合写真



保育展示物制作中

## 体験コーナー

「フェルトのフラワークリップ」と「紙バンドのメモスタンド」を作ります。簡単に作れるので是非来てください。



## お土産作り

カイロ入れを製作中です！ご来場のみなさまに、家政科の温かさをお伝えできればうれしいです。





## キャンドルナイト 10 / 21

市内の高校と大学が協力してキャンドルナイトを行いました。虫の音が聞こえる中、手作りろうそくの優しい灯を見ながら、ゆったりとした秋の夜長を少し贅沢な気分で過ごすことができました。



## 創立記念日式典 11 / 2

本校は創立 136 年目を迎え、記念式典と芸術鑑賞会がありました。芸術鑑賞では、株式会社社向舎による「狂言鑑賞会」が行われ、普段では経験できない狂言のワークショップもあり、古典芸能に触れる良い経験となりました。



## 先端学問特別講座 11 / 26

東京大学、京都大学、慶応義塾大学の先生方 8 名をお迎えし、先端学問特別講座を開催しました。数学や英語、物理など 8 講座を開講し、生徒は興味のある分野を自由に選択して受講しました。田中真介京都大学准教授は「霊長類の進化と発達～チンパンジー、ボノボ、ヒトの子どもたちの遊びと暮らし～」と題して霊長類と人間の違いなどを、チンパンジーの独特の泣き方を真似するなどして分かりやすく説明してくださいました。また、横山千晶慶応義塾大学教授は、韻やリズムによって「音」から英語を理解する学習方法を説明してくださいました。生徒はいつもとは違う雰囲気の中で自分の興味のある学問分野を深く知る機会となりました。



## 縦割りLHR 10 / 24

縦割りLHRとは、クラスを解体し学年や科を越えてグループを作り、身近な課題について意見交換をする取り組みです。今年のテーマは「高校生から始める選挙」でした。親睦を深めながら選挙制度について理解を深める良いきっかけとなりました。



## 高梁地紅茶まつり 11 / 5

栄町商店街で「第 5 回高梁地紅茶まつり」が開催されました。今年も、高梁地紅茶まつり実行委員会の生徒を中心に栄町商店街の皆様と協力して行うことができました。今年のテーマは「香れ地紅茶 盛り上げられ栄町」。高梁市宇治・松原地区で作られている高梁紅茶を地域の皆様に味わっていただく「地紅茶カフェ」では、高梁城南高校の生徒と一緒におもてなしをしたり、体験コーナーやパフォーマンスでイベントを盛り上げました。日頃からたか高を応援してくださっている地域の皆様に感謝の気持ちを伝える 1 日となりました。



## たか高生インタビュー

中学生の皆さんに、たか高をもっと知ってもらうために、たか高生にインタビューをしました。

### 普通科2年2組 花森 未来

Q: どうして、たか高への入学を決めましたか?

兄がたか高に通っています。松籟祭などの行事がとても楽しそうで、雰囲気が良かったです。また、兄から「わからないところがあると先生方が個別に丁寧に教えてくださる」と聞いていたので、進学を決めました。



Q: たか高に入学して良かったことは。

勉強でわからないことがあった時に、お互いに教え合ったり、理解できるまで意見を出し合える友達ができただけです。

Q: たか高に入って一番の思い出は。

松籟祭です。普段なかなか関わることができない、先輩や後輩、家政科の生徒と話すきっかけになったり、他の部活の発表を見ることができる数少ない機会なので楽しかったです。

Q: 部活の様子を聞かせてください

ソフトテニス部に所属しています。「楽しむ時は楽しむ、やる時はやる」というメリハリをしっかりとつけて、1 年次生、2 年次生みんなで切磋琢磨しながら頑張っています。

Q: 将来の夢は?

薬剤師になることです。

Q: 中学生に向けてのメッセージ

中学校で勉強する内容は高校の勉強にもつながるので、今からしっかり勉強を頑張ってください。また、たか高は先輩・後輩の仲が良く、先生方はとても熱心に指導してください。勉強も部活も頑張れる学校なので、ぜひ来てください。

### 家政科2年1組 木安 朱音

Q: どうして、たか高への入学を決めましたか?

家政科で専門的なことを学びたいと思ったからです。中学生の時、家政科展を訪れ、先輩方がカフェや保育で地域の方とふれあったり、ファッションショーや手話などを行っているのを見て、私も同じようなことをしたいと思いました。



Q: たか高に入学して良かったことは。

授業で分からなかったところは一つ一つ丁寧に先生方が教えてくださることで。また、先生に質問しやすい環境も良いところだと思います。

Q: たか高に入って一番の思い出は。

文化の部と体育の部がある松籟祭です。各ブロックの団長を中心として競い合い、体育の部の最後にはフォークダンスがあり、アンコールが 3 回も起きるほど盛り上がりしました。

Q: 部活の様子を聞かせてください

ダンス部ではストレッチ、基礎、体幹トレーニングを基本として活動しています。年に 7 回ほどステージがあり、曲決めからダンスを考えたりなど、自分たちのダンスを作っています。先輩、後輩との仲が良く、楽しく部活をしています。

Q: 将来の夢は?

まだ明確には決まっていますが、製菓の専門学校に行きたいと考えています。それに向けて毎週 1 回はお菓子を作るようにしています。

Q: 中学生に向けてのメッセージ

家政科は、食物、被服、保育と自分の夢に向かって専門的なことを学びます。私たちと一緒に頑張ってみませんか。